

NPO紹介シート

作成日 平成19年3月27日

作成者 小沢潤、明智香奈 環境

| | | | | | | | | | | |
|------------|----------------------------------|-----------------|-----|----------|--------|-----------|------------|-------|--------|-----|
| 法人格 | フガナ | エヒメセイタイケイホゼンカンリ | フガナ | ヤマモト エイジ | 団体設立日 | 平成14年1月4日 | | | | |
| 有 | 団体名 | 愛媛生態系保全管理 | | 代表者名 | 山本 栄治 | 法人設立日 | 平成14年4月19日 | | | |
| 活動地域 | 愛媛県内 | | | 正会員 | 賛助会員 | 事務局 | ボランティア | | | |
| 主たる活動の種類 | 環境保全 | | | 個人 | 30人 | 有償 | 有償 | | | |
| 従たる活動の種類 | 保健、福祉、社会教育、文化芸術、子ども健全育成 | | | 団体 | | 無償 | 2人 | 無償 | | |
| 所在地 | 〒791-3511 喜多郡内子町吉野川1127 | | | 単位千円 | 収入合計 | 会費 | 寄附金 | 自主事業 | 委託事業 | 助成金 |
| TEL | 0892-52-2582 | | | 18年度 | 14,295 | 57 | 180 | 1,575 | 12,483 | |
| FAX | 0892-52-2582 | | | 17年度 | 11,227 | 52 | 85 | 319 | 10,271 | 500 |
| Eメール | odayamaken@dream.com | | | 16年度 | 4,989 | 70 | 53 | 4 | 4,925 | |
| ホームページアドレス | http://www.ehime-seitaikei.info/ | | | | | | | | | |

*下記は、箇条書きでわかりやすくご記入ください。

| 団体設立のきっかけ | 自己評価 |
|---|---|
| <p>私たちのNPOは、愛媛県内の自然科学の専門家が集まり、自然環境を調査し、その事実を住民にありのまま伝えることにより、愛媛県内の美しい自然を守っていこうとする目的で設立しました。</p> | <p>(各32点満点)</p> <p>評価指標は千葉県「NPO家計簿」より</p> |
| 今、力を入れている活動 | |
| <ol style="list-style-type: none"> 1. 松山市 都市環境学習センターの運営 2. 久万高原町由良野の森(自然観察林)づくり 3. 今治城自然観察調査 | |
| 主な活動実績 | |
| <p>平成15年10月より 松山市都市環境学習センター 委託運営 * HPはこちら http://www6.ocn.ne.jp/~toshikan/</p> <p>平成16年4月より 今治城築城400年祭 市民提案事業補助金事業による今治城の自然観察調査 * 現在、寄付金等を受けて調査継続中</p> | |

NPO連携シート

| 団体の目的・目標 | 団体の強み(長所) |
|--|---|
| <p>この法人は、不特定かつ多数のものに対して、環境保全のための環境教育・体験学習、自然観察の科学的調査・研究等を行い、また研究者、地域住民及び各種団体とのネットワークを構築し、環境保全、生涯学習、地域文化・芸術の振興、住民の安全・健康増進を含んだ総合的なまちづくりなどをはかり、もって公益の増進に寄与することを目的とする。</p> | <ol style="list-style-type: none"> 1．研究者や大学教授など、専門家が多い 2．各理事は他団体の理事・会長など役職を務めている 3．各種博物館、学校、地方公共団体との連携が図れているか 4．チームワークが最高 |
| <p>今後、団体に必要だと思われること・モノなど</p> | |
| <p>会員を増やす</p> <p>補助金の確保</p> <p>専門的な知識を持ったスタッフの確保</p> | |
| <p>目標達成のため連携したいことがあればお書きください。 どんな団体と？どんな風に？（アイデア程度でいいです）</p> | |
| <ol style="list-style-type: none"> 1．県や市などの環境部門の連携 2．環境の他のNPOとの連携 3．美しいふるさとづくりに共感できる他のNPOとの連携 | |

NPO自己評価チェックリスト

出展:千葉県「NPO家計簿フォーマット」より

このチェックリストは、みなさんが自分たちの団体を振り返り、よりよい活動にしていくための指標です。また評価内容を公開することで、団体の透明性が増し、市民の信頼を得ることができます。点数は1:できていない 2:あまりできていない 3:まあまあできている 4:できている です。

| 1. 課題・ニーズを発見する力 | | 合計: | 22 |
|---|--|-----|----|
| ◆様々な手法による課題・ニーズの把握 | | | |
| 1) 参加者、利用者の方々と話をして情報収集をしている。 | | | 2 |
| 2) 課題やニーズを把握するためのアンケート等の調査をしている。 | | | 2 |
| 3) 地域や他の団体、関係機関との意見交換や交流の場を設けている。 | | | 3 |
| 4) 行政、または新聞、書籍、テレビなどのマスメディアから情報収集をしている。 | | | 3 |
| ◆課題・ニーズを把握するための環境 | | | |
| 1) 課題やニーズを調査するための人材や環境が整っている。 | | | 3 |
| 2) 課題やニーズを発見するためのネットワークや仕組みを持っている。 | | | 4 |
| 3) 課題やニーズについて得た情報について、団体で話し合っている。 | | | 3 |
| 4) 課題やニーズについて得た情報を事業に活かしている。 | | | 2 |

| 2. 広報を活かす力 | | 合計: | 20 |
|--------------------------------------|--|-----|----|
| ◆様々な手法による広報活動 | | | |
| 1) 機関紙、ホームページ等で団体の活動を紹介している。 | | | 2 |
| 2) 行政が発行する広報誌や新聞、テレビ等のマスメディアを活用している。 | | | 3 |
| 3) 様々な行事やイベント等に参加して、団体の活動をPRしている。 | | | 2 |
| ◆広報の対象についての調査、活用 | | | |
| 1) 伝えたい対象者がはっきりわかっている。 | | | 3 |
| 2) 伝えたい対象者について、事前に情報を収集している。 | | | 2 |
| 3) 得た情報や調査の結果が、広報をするときに効果的に反映されている。 | | | 2 |
| ◆広報結果の調査、整理 | | | |
| 1) 広報をした結果について振り返りなどの調査をしている。 | | | 2 |
| ◆広報活動の環境 | | | |
| 1) 広報に関する仕事ができる専門家やスタッフがいる。 | | | 4 |

| 3. 組織を育てる力 | | 合計: | 23 |
|--------------------------------------|--|-----|----|
| ◆人材の受け入れ、育成 | | | |
| 1) 事業に参加を希望する人を受け入れている。 | | | 3 |
| 2) スタッフや新人が研修するための機会を、組織内外において設けている。 | | | 2 |
| ◆組織全体で進める体制 | | | |
| 1) 理事会と現場のスタッフとの意思の疎通や連携がうまく取れている。 | | | 4 |
| 2) スタッフ全員で団体の課題や事業等について定期的に話し合っている。 | | | 4 |

◆外部力の導入、活用

- | | |
|---|---|
| 1) 分野の異なる団体や企業が開催しているフォーラム等の集まりに参加している。 | 2 |
| 2) 地域や他の団体等と勉強会や研修会をしている。 | 2 |
| 3) 外部の人を積極的に活用している(インターンシップ等) | 2 |

◆仕事を行う環境

- | | |
|--|---|
| 1) スタッフやボランティアが安心・安全に活動できる制度(保険等)が整っている。 | 4 |
|--|---|

4. 事業を推進する力 合計: 24

◆目標や計画の設定、立案

- | | |
|---|---|
| 1) 団体のビジョン、社会的な役割、活動の将来像が描かれている。 | 4 |
| 2) 目標を実現するための事業について具体的な目標や実施計画が立てられている。 | 3 |

◆取り組みの姿勢、実施体制

- | | |
|---|---|
| 1) 目標や計画の設定、立案が団体内で理解、共有化され、 実現に向けて組織全体で取り組んでいる。 | 2 |
| 2) 事業の企画、運営管理、総務(労務、経理)についてよくわかる人がいる。 | 4 |
| 3) 事業を進める上で、多様なネットワークからの支援、協力を求めることができる。 | 3 |

◆事業評価、分析、活用

- | | |
|--|---|
| 1) 計画と実績の、経費バランスの評価、検証ができています。 | 3 |
| 2) 費用対効果を含めた事業の成果について全体で検討し、改善、活用している。 | 3 |
| 3) 外部からの意見、要望、問い合わせ、クレーム等を事業へ反映させている。 | 2 |

5. 財源を生み出す力 合計: 25

◆経営の安定化を図る活動

- | | |
|---|---|
| 1) 事業づくりのための営業的活動や企画提案等をしている。 | 3 |
| 2) 安定した収益を得るための基盤となる会員拡大や事業づくりに取り組んでいる。 | 2 |

◆事業の創出、財源確保の手法

- | | |
|---|---|
| 1) 他の団体、または企業との連携や協働事業に取り組んでいる。 | 4 |
| 2) 企業や行政等が実施する公募事業(委託事業等)に応募している。 | 4 |
| 3) 行政、企業、市民等による補助金、支援金を活用している。 | 4 |
| 4) 財源を確保するために団体独自の方法がある。 | 2 |
| 5) 様々な地域資源(ヒト、モノ、カネ、情報、文化、産業など)を活用している。 | 3 |

◆専門機関の活用

- | | |
|--------------------------------------|---|
| 1) 団体経営や事業の運営等について中間支援団体や専門家に相談している。 | 3 |
|--------------------------------------|---|